

 <p>NIHON ICHI KANAMONO 株式会社 日本一金物 ☆日本一金物は皆様の相棒☆</p> <p>トピックス</p> <p>まいどうさん</p>	<p>INFORMATION</p> <p>KANUSIKAKAISUYA NIHON ICHI KANAMONO</p> <p>1998 8月号</p> <p>株式会社 日本一金物店</p> <p>中島店 西宮市中島町10番3号 五(0138)52-2020 美原店 西宮市美原3丁目25-11 五(0138)46-0888</p> <p>発行日 平成 10年 7月20日</p>
--	---

☆皆様の力強い相棒となるため☆...☆ 目指します「プロショップ」NO.1店 ☆

!!無類の可憐性を追求する「青春金物店」日本一金物!!

暑中お見舞申し上げます

《 御 礼 》

6月24～25日美原店2Fで開きました、「紳士服オーダー祭」には20数名様のお誘いを、頂き誠に有り難うございます。メーカーの社長さんも、皆様に宜しくとお礼を述べ帰礼致しました。尚、機会を作り、亦企画したいと存じますので、今後とも変わらぬご愛顧の程宜しくお願い申し上げます。

其れと同時に、エアーマッサージ、健康器具の販売にも、皆様の多大なるご協力を頂き、何とか目標に近い台数を販売させて頂きました。重ねて厚くお礼申し上げます。

《 お 原 因 》

毎週水曜日、当社ミーティングのため、午後6時終業させて頂いております。日が長くなっている今日この頃、大変ご迷惑をかけ申し訳御座いません。

亦、美原店の付近も、車の通行が多くなりご不便をお掛けしております。呉々も事故のないよう安全運転をお願い致します。尚、道路向かいに日本一金物の駐車場がありますので、是非ご利用下さい。

ふじ、つつじ、も終わり本格的な夏を迎える季節になり 山や海へレジャーの季節になって来ました。当社ではレジャー用品を豊富に取揃え、皆様のお越しを全員でお待ちしております。何卒ご来店下さい。

総括監査 藤波

もうすぐ夏!! 生水は「おなか」をこはす元凶です。蛇口に挟むだけの簡単な「活水器」が発売されております。体にいい水飲んで、この夏も乗り越えましょう。是非、当社へお問合わせ下さい。

経理事務 和田

日立インパクト。何台か特価品があります。亦、**物置、ガレージ、フェンス。**  
 格別の値段にて見積り致します。美原店部長迄ご一報下さい。

【**新製品**】

デンマーク生まれヨーロッパ、NO1の実績を持つ木材保護着色塗料「サドリン」  
 を美原店、中島店、で在庫うしました。

特徴としましては抜群の「木材防腐作用」と的確な「防虫効果」塗膜のハガレ、  
 フクレ、ヒビ割れ防止、色もちも良く、ハケむら、塗むらがなく作業性の良い塗料で  
 す。是非、ご利用下さい。 社員一同

2色のダブルイン墨壺（2色の色が使い分け出来る）!! イ

足袋のような安全靴〔都纏〕

ビデオ モニターホン

エポキシ パテ



【**今月特売品**】

亜鉛ナマコトタン。カラー角波トタン イ!!

木材が割れないで打てる フィニッシュ ビス !!

電池のいらぬ ソーラー式 工事現場 標識

アルミ脚立。パイプ脚立。ポリフィルム。

換気扇。フード。レジスター。

外、建築金物、「特売月」です。

下取りセール  
 ナショナル  
 製品お買上げ  
 の方にどんな  
 充電器でも、  
 ￥5000で下取り

尚、第三金曜日、「金物の日」特売日です、是非ご利用下さい。

「貴乃花、優勝おめでとう」 国技館での 小話

ある日、次郎はアメリカ娘の、ジャネットを連れて 日本の国技 相撲見物に出かけ  
 ました。ジャネットは相撲を見るのは初めてだったが、好奇心旺盛なアメリカ娘の  
 こと、熱心に見物をしていました。次郎は気をよくして、相撲の見処を説明してやっ  
 た。「まわし、わかりますね」「ハイ、アノ黒イ、オビ」「そう。あの、まわしを早  
 く取った方が有利なんです」するとジャネットは 顔を赤くして「ワカリマス。取  
 ラレタ人、タイヘン恥ズカシイ、デスカラネ」

【俺の親父】は【日本一】

明治33年、山形県堀田村で、農家の次男に生まれた父は、尋常小学校6年卒業後、すぐ遠い親戚であった、根室の「青柳鋸製作所」に奉公に上がった。当時、農家の次男、三男は、小学校を卒業するとすぐ奉公に出されたものらしい。

其れにしても13才の少年が一人で、汽車と船に乗り又夜汽車と乗換え一昼夜半も掛け北海道の北端、「根室」迄、おにぎり5個と今のお金で貳千円、程度の小遣で、よくぞ行ったものだと感心させられる。

青柳に着くと、休むまもなく1才になる女の子を背負わされ、5年間は子守と掃除に明け暮れ、何度か「山形に帰りたい」と布団の中で泣いたらしい。以後18才なった頃から、徐々に鋸目立て、製作と学んで行った。

元来、器用な親父は、親方も舌を巻くほど上達が早く、親方は、親父が奉公時に背負っていた娘を「娘の婿になって青柳を継いでほしい」と真剣に親父に言ってたらしい。青柳には息子が一人いたが、体が弱く、あまり仕事もせず、毎日ぶらぶら、していたせいもあり、親方は、親父を頼りにしていたようだ。酒、タバコを一切やらぬ、生真面目過ぎる親父は、35才迄一生懸命、青柳のために骨身を惜しまず働いたらしい。

その後親方から「娘婿に」の話はとんとなく、親父は自立の道を考えていた折、ある知り合いから、日頃の親父の真面目さを買われたのか「是非、山本家の婿になってくれ」と頼まれ、近所でも、評判の美人であった、山本家の養女「トキ」に一目惚れした親父は二つ返事で婿養子になったという。昭和9年、親父35才、母23才であった。22年間の奉公中、国の山形県に只の一度も帰る休暇すらもらえず、小遣い程度の給金では、たいて蓄えもなく、其れは質素な祝言であつたらしい。

生前の親父も、現在の母も、根室時代の事は語りたがらず、察するにはあまり良い思い出はなかったのではと思う。

9年函館大火の後に単身で来函、一間を借り建築現場を鋸目立てをしながら廻って歩き、昭和10年今の市役所裏、東豊町に「日本一鋸診療所」と看板を掲げ独立し現在に至っている。

親父も奇抜な考えの持ち主で、看板に「日本一鋸診療所」と書いたのは面白い、ある時、年老いた一人の女性が「体の具合が悪いども、先生に診てもらいてえ」と言って店に入って来たエピソードもあつたという。

独立後すぐ根室から母と義理の祖父、祖母を呼び、戦前戦後の動乱期とはいえ、三男三女の子供達と、一緒に過ごした時期が、親父の一番充実して、楽しい人生ではなかったかなと、子煩悩だった親父を思い出すにつけ、その細やかな幸せが、親父の喜びだったと察します。そのことを考えますと、いかに親父の根室での生活は苦しかったのかなと思う気がします。

私が鋸目立ての外、大工道具販売と店を継ぐようになってから、晩年の親父は、山形県の兄貴の所とか、仕入先の新潟など旅行して気生き生きとしていた顔が思い出されます。生涯、「鋸目立て」に生きた親父に、私は、今、新たに誇りを覚えます。

生命のみが神聖である。生命への愛が第一の美德である。

ロマン・ロランは高潔な人道主義的作家として知られる。多くの作品を通して生命が何物よりも尊く、生命を愛することが最高の美德であることを説き、第一次世界大戦以来、率先して国際平和運動を推進した。

ロラン(1866～7944 フランスの小説家)

寒さにふるえた者ほど太陽の暖かさを感じる。人生の悩みをくぐった物ほど生命の尊さを知る。

ホイットマンは貧しい農家に生まれた。小学校卒業後は働きながら独学、36歳のとき手作りの詩集『草の葉』を刊行、民衆的詩人としての名声を博した。この言葉は、平易な中に彼の人生の確かな裏付けがある。

ホイットマン(1819～92 アメリカの詩人)

人生意気に感ず 功名誰か復た論ぜん。

人はお互いの潔い気性に感激して仕事をするもので、名誉や金銭の欲にかられてするものではない。魏徴は中国唐の太宗に仕えた名臣で、『隋書』その他の正史の編纂に関与した。

魏 徴(580～643 中国の政治家)

時の経のが速いと思うのは、人生というものがわかってきたからだ。

「光陰矢の如し」の思いは洋の東西を問わない。こうした感が身にしみるのは、若い世代よりも人生の起状を経た、いわゆる熟年の時代からであろうか。それは体験からの実感である。

ギッシング(1857～1903 イギリスの小説家)